

WS #71登壇結果とIGF2023への提言
IGF 2020 WS #71 Building trust through
responsible response to global crises Information

中央大学 実積寿也

IGF 2020 WS #7とは

- セッションの概要
 - このパネルでは、世界的な危機が発生した際に市民の信頼性と安全性の高い接続性を確保し、信頼の枠組みを構築するために、政府と民間セクターが果たすべき適切な役割を探ります。また、COVID-19イベントを通して得られた教訓と、他の大規模な対応イベントに備えて信頼の枠組みを進化させるためのベストプラクティスを検討します。
- モデレーター & 登壇者
 - Chris Boyer, Moderator, AT&T Services, Inc.
 - Kathryn Condello. CenturyLink
 - Doreen Bogdan-Martin, ITU

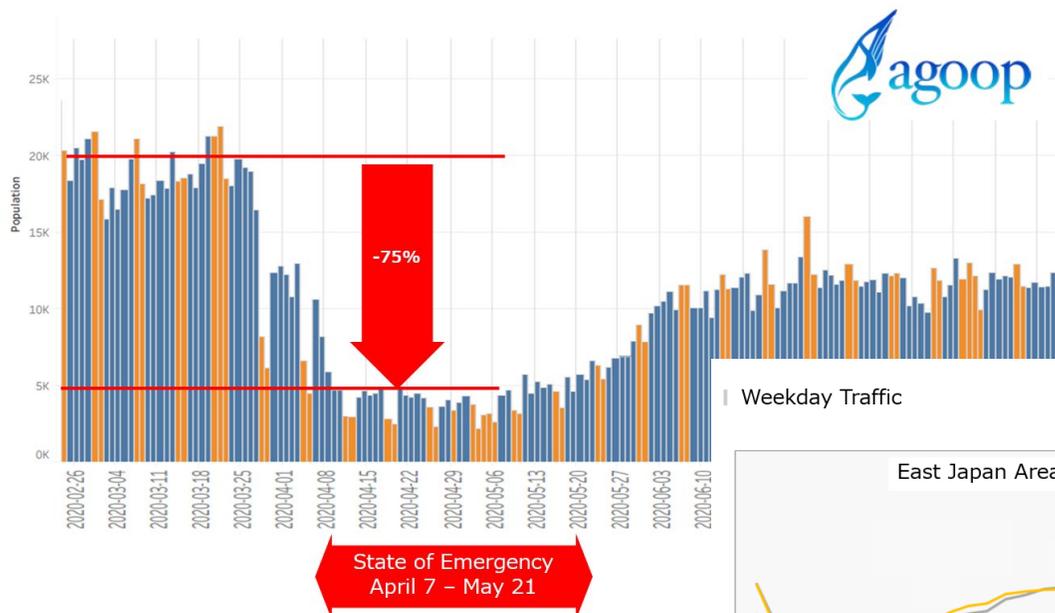


進行

- モデレータから事前に提示されていたアジェンダに沿って進行
 1. COVID-19危機が生み出した問題とインターネットの役割の概要
 - 求められた発言：日本政府と日本のビジネスの視点
 2. 対処戦略に関するステークホルダーの協力
 - 求められた発言：COVID-19対処戦略の遂行において日本政府と産業の連携はどのように行われたのか？
 3. 今後の危機対応のためのベストプラクティス
 - 求められた発言：日本が提唱した「Connect2Recover」は、将来のパンデミックへの対応や対処戦略の基盤となるものであることを、さらに詳しく教えてください。
 - 求められた発言：日本政府の対応を補完するために、日本企業はどのようなベストプラクティスを提案しているのか。

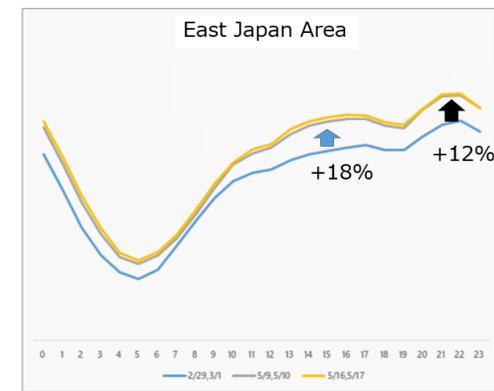
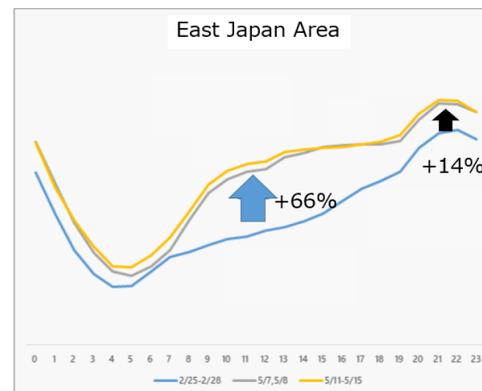
感想

- 通信やインターネットの話ではなく、情報通信技術が社会課題（COVID-19）の解決にどのように役立てられているのかという議論。
- その意味で、いわゆるガバナンスがテーマではない特異なセッション
- とはいふものの、悔しかったのでネットの話を無理やり挿入



Weekday Traffic

Weekend Traffic



IGF2023への提言

- 開催形式について
 - オンライン開催が可能なが判明してしまった。
 - 登壇コストは激減
 - 海外の著名人を招聘するには有効
 - 登壇者同士のインタラクションが希薄になる
 - ディスカッションを盛り上げるには、仕込みも含めて工夫が必要。
 - モデレーターには高い能力が必須
 - リアル参加ニーズは必ずあるのでハイブリッド開催が必須
 - リアルではないと参加不可という制約はもはや設定できない

アカデミズムの視点からきちんとした内容を議論するのであれば、仕込みに時間がかかる。

- インターネットガバナンスをメインの研究対象にしている人はおそらく国内にはいない。
- 上位レイアのテーマを積極的に入れ込むのであれば、多くの発表者が期待できる可能性